

2019 年度 修士論文

秦檜専権体制に対する南宋人の認識
— 詔獄による政敵排除を手掛かりに —

文学研究科 哲学歴史専攻 東洋史学専修

M18LA007 里和麟太郎

目次

はじめに	2
第1章 秦檜研究について	4
第一節 秦檜に関する先行研究	4
第二節 問題設定	7
第2章 歴史記録から見た岳飛の獄.....	9
第一節 「岳飛の獄」に関する先行研究について	9
第二節 「岳飛の獄」の流れと使用史料.....	11
第三節 歴史記録における岳飛の獄記述の形成過程.....	13
第四節 岳飛の獄をめぐる解釈の相違について.....	16
第五節 小結.....	28
第3章 宋代筆記史料に見える岳飛の獄.....	31
第一節 『夷堅志』における紹興年間の言説	32
第二節 『朝野遺記』「岳王卒葬」にみる岳飛の獄	37
第三節 「東窗事犯」関連言説から見る岳飛の獄.....	39
第四節 小結.....	41
終章.....	41
表	48
参考文献・史料	69